



爆発物テロ事態対処

～簡単な爆破処理法の確立とテロ対策の強化～

研究背景



文部科学省 科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会（平成18年7月）
重要な研究課題 「有害爆物現地対応技術」を戦略重点科学技術

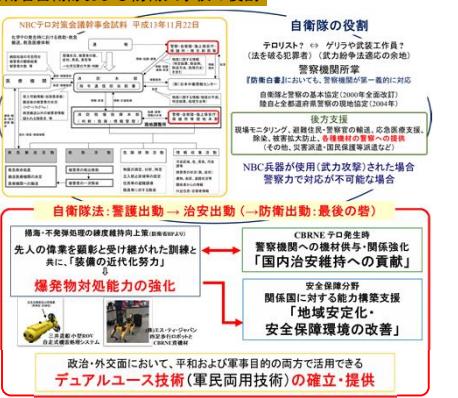
防衛省の防衛大綱：「NBC等大量爆破兵器や深刻化するテロは重要な課題」



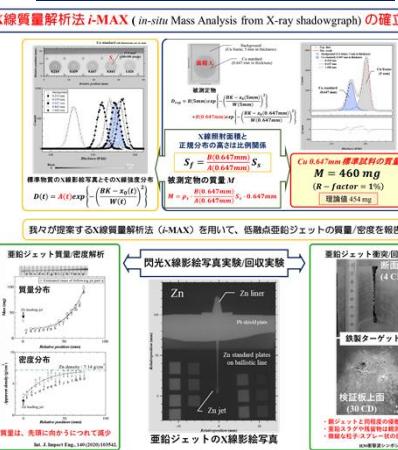
一方、日本国自衛隊 不発弾処理部隊/掃海部隊は、戦後から現在に至るまで、最前線で活動する自衛官・実戦部隊



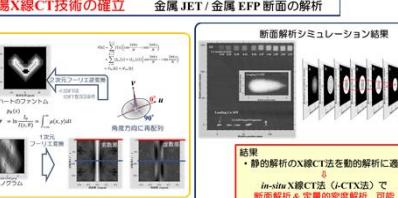
防衛省自衛隊および防衛大学校の役割



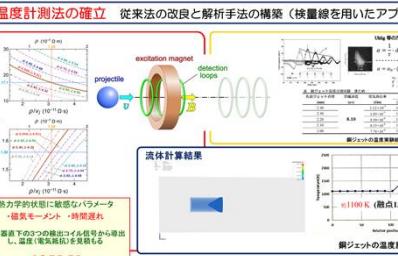
研究・解析手法の確立 (学術研究)
・閃光X線質量解析法
・その場閃光X線CT解析法
・新規温度計測法



その他のX線CT技術の確立 金属JET / 金属EFP断面の解析



新規温度計測法の確立 従来法の改良と解析手法の構築 (値量線を用いたアプローチ)



1358 K

ミッションステートメント

爆発物テロ事態において、
・無力化が困難な爆発物を安全かつ簡便に爆破処理する方法の確立と、
・未然防止策、および事後処理・被害低減を含むテロ対策強化

防衛大学校の教官から学科・学群を超えた組織横断的専門集団(COE)を組織

官職・学年・学科名 開拓研究分野

齊藤文一 高圧物理学
吉永智一 放電・プラズマ工学

岸村浩明 衝撃波科学、高力科学

甲賀誠 火薬学、粉体工学

伊東新吾 火薬学

宮坂直史 國際政治、安全保障、テロリズム

麻原浩幸 機械力学、振動制御

多田茂 生体工学、生体工学

大瀬武史 電子回路、集積回路

爆発物テロ事態対処 (プロジェクト概要)

衝撃波に対する人の・物の脆弱性の評価
保安距離の算定

衝撃波 (内圧波・崩壊波・破壊波)

飛散物 (外的破壊・飛散距離と損害解析)

爆発物事態をスケール制で評価

爆発物の物理的構成 (崩壊・飛散物) の定義

事態対処の法政策的研究

火薬類性能評価・事態対処セクション

火薬・爆薬の性能評価と爆発物テロに対する現状評価

テロ対策強化

未然防止策、および事後処理・被害低減を含むテロ対策強化

不発弾処理具の提案・評価

爆発処理システム評価セクション

爆発飛散物の物理量に対する圧力減衰剤の影響

不発弾処理具の提案・評価

爆発処理システム評価セクション